

ひとりひとりひかる

きぼう

2017 1/1
第87号

発行 : かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147
かしの木 ホームページ [http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



新春のお喜び
申し上げます

87号 きぼうの目次

会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

かしの木の会も今年で37年の活動となります。これもひとえに、会員・購読会員の皆様からのご支援とご協力のお陰と、心から厚くお礼申し上げます。

今年も昨年同様、引き続き、地域の方々、利用者に対して少しでも役に立つように頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。



- 表紙・写真・目次・・・・・・・・・・ P. 1
- 新年のごあいさつ・・・・・・・・・・ P. 2
- 地域コーナー①/かしの木フェスティバル・・ P. 3
- " / " 収支報告・・ P. 4
- 地域コーナー②/地域貢献・FMいちのみや・・ P. 5
- 法人コーナー①/保育所等訪問事業・・・・・ P. 6
- 法人コーナー②/療育サポートプラザ・・・・・ P. 7
- 法人コーナー③/そら豆キッズ・・・・・ P. 8
- 地域コーナー③/木曾川高校・音楽会・・・・・ P. 9
- かしの木の会コーナー①/研修委員会・・・・・ P. 10
- かしの木の会コーナー②/イベント委員会・・ P. 11
- お知らせコーナー/行事予定・赤い羽根共同募金・ P. 12

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

かしの木の会は、今年も心に届く活動を目指していきたいと考えております。



会は、5つの委員会で構成されています。

その1つ広報委員会では、会活動の紹介、榎の木福祉会の情報、地域の福祉情報等、毎回盛りだくさんのホットな内容で広報紙をお届けしています。少しでも多くの方々が読んで下さるよう購読会員を募っています。

またバザー委員会では、一針一針心を込めて製作した手芸品を各地で開催されるバザー等で販売しています。製作には地域のボランティアさんも協力していただき、大変感謝しております。年一回の地域の方々との音楽でのふれあいを目的に開催を企画しているのがイベント委員会です。今年2月の音楽会は会場の都合で実施できず残念ですが、近いうちに実現できるよう努力したいと思っています。施設見学や学習会の計画実施担当は、研修委員会です。『ハンディのある人が地域で普通に暮らすには、どんな課題があり何を準備したらよいか』をテーマに活動しています。またかしの木の会では、在学中のしょうがい児を抱える親御さんの会としてあつとホーム委員会があります。若いお母さん達に会活動にも積極的に参加協力していただき、今後の会活動に期待したいと思っております。

会員447名、一人一人がハンディのある人をどう支え、どう共に暮らしていったら良いのかを模索しながら前に進んでいきたいと思っておりますので本年もお力添えのほどよろしくお願いいたします。

かしの木の会 会長 小塚 峰子

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。

理事長として二度目の新春を迎えました。昨年の主な行事は、天候にも恵まれ盛大に開催できました。これもかしの木の会員はじめ地域の方々など多くの方々のご支援、ご協力の賜ものと心から厚く御礼申し上げます。



さて、昨年は社会福祉法人の改革元年の年であり、4月から法人事務局の組織強化を図りつつ課題解決にあたってまいりました。定款の改正や理事、評議員の任命など大きな課題がまだ残っています。道半ばではありますが、本年6月末をめどに法人の組織改革を完結させる予定です。

また、昨年6月の理事会でご承認をいただいた「生活介護等事業所新規建設事業」については、施設名を「らでうす」と名付け法人本部事務局の南隣地に、2月半ば竣工を目指し順調に建設を進めています。完成いたしますとこの地が榎の木福祉会の主要施設の集約地として大きな機能を果たしていくものと期待しています。併せて、榎の木福祉会を利用したいと願っておられる方々にも当分の間安心いただけるものと思います。

一方で、榎の木福祉法人が発足した当時に建設された事業所施設等は築後35年を過ぎ老朽化が進んでいます。これらの施設の補修計画や改築計画を立案し実行に移さなければならない時でもあります。

際限なく課題が押し寄せる1年になりますが、微力ながらも着実に前進し、本法人の発展に尽くす所存です。関係各位のご支援、ご協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。

社会福祉法人 榎の木福祉会

理事長 北川 登

地域コーナー①

第16回かしの木フェスティバル

平成28年11月6日(日)、富田山グラウンドにて「第16回かしの木フェスティバル」が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、多くの来場者の方々に足を運んでいただき、盛大に行われました。フェスティバルを行うにあたりまして、来賓の方々やボランティアを始め、たくさんの地域の皆様方に支えて頂いたことを改めて御礼申し上げます。



会場内はフリーマーケットやバザー、朝市など様々な出店があり賑わいました。今年は緑日をイメージした「キッズコーナー」、会場内でヒントを集め、謎を解く「謎解きゲーム」を新たに取り入れました。ボールプールやポップアップカード作りを含め、お子様に楽しんでいただけるよう企画しました。ステージイベントでは、地元アイドルグループやよさこいなど、近隣で活躍する団体によるパフォーマンスが行われました。参加型のステージが多く、出演者と観客が一体となり盛り上がりました。

模擬店ブースでも、CoCo 壺番屋さんのカレーや焼きそばなど、多くの店が出店されました。おかげさまを持ちまして完売する店が多くありました。歌って、踊って、食べてと、見ていてとても活気があり、嬉しく思いました。

今年も地元の中高生を中心に多くのボラ

ンティアの方に参加していただきました。元気の掛声や一生懸命取り組む姿をたくさん見ることができました。年々参加人数も多くなり、たくさんの元気をもらっています。



かしの木フェスティバルは、「つなごう てとて ひろげよう みんなのわ」がテーマです。

障害のあるなしに関わらず、地域で共に暮らせる街づくりにしていくことが大きなテーマです。

今年もたくさんの笑顔を見ることができました。フェスティバルでの出会いをきっかけに、地域の方々との交流に繋がっていければ幸いです。

今後ともよりよいフェスティバルになるよう努力し、地域の皆様との架け橋になればと思っております。益々のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。また来年皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第16回 かしの木フェスティバル

実行委員長 加藤 栄治

ボランティアで学んだたくさんの事

尾西二中 福重 綾香

私は、利用者の方と関わるなかで、細かな気配りや優しさの大切さ、自分が楽しめば相手も楽しんでくれることなどを学びました。

また、利用者の方と楽しそうに接する職員の方がとてもカッコよく見えました。私も職員の方のように、コミュニケーションを大切にしたいです。

第16回かしの木フェスティバルありがとう

第16回かしの木フェスティバル（11月6日開催）に、ご支援ご協力ありがとうございました。

☆第16回かしの木フェスティバルのご協力者数

- 協賛協力業者 24件
- ボランティア協力者 178名
- バザー等出店施設・団体 9軒（フリマを除く）
- 当日来場者 約1,500名



☆第16回かしの木フェスティバル売上報告（H28.12.1現在）

第16回かしの木フェスティバルの売上は921,262円でした。かしの木フェスティバルにご参加いただき、感謝申し上げます。経費を差し引いた額を適切に使わせていただきます。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に…

協賛業者等の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体等の皆様、バザー出店施設等の皆様、不用品バザーに物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。

本誌を借りまして厚く御礼を申し上げます。

（かしの木の会 事務局）

～フェスティバルにご協賛を頂いた方々～（50音順・敬称略）

青山歯科医院	（株）きくや	バルビール
浅井商店	菊屋米穀店	尾西信用金庫 理事長 木村 孚男
（株）アトム保険	鈴木クリニック	（有）マツモト園芸
（株）壺番屋	ツバメプロパン	（株）マルエム商会
（株）浦野設計	内藤行政書士事務所 内藤 広子	ミートブティック末広
（株）大藤	のだ電機（株）	有限会社 ヤマショー食品
（株）折久商店	（株）橋本住設	放課後等デイサービス ルック未来

～個人協賛の方々～

大江 順子 様	小川 規氏子 様	毛利 様
---------	----------	------

地域コーナー②

i-wave FMいちのみやに

出演しました

地域貢献しちゃいました！

少し前のお話ですが、私たち(IさんとTさん)は昨年の8月7日(日)午前8時から、グループホーム「あおきの家」がお世話になっている萩原町荒南地区の神社を掃除しました。普段は「喫茶らちえっと」や「フード&ベーカリーわがんせ」で働いていますが、年に1度(日曜)に町内の公民館や神社の掃除もします。さあ、それでは箒(ほうき)や万能(まんのう)、軍手などを用意して、いざお宮さまへと参りましょう。

神社には、町内の人たちが大勢集まっています。草取りも始まっていたので、私たちは直ぐに参加しました。刈った草を集める場所が分からなかったのが、Iさんは、近くの年配の女性に「おばさん、これ何処へやるの?」と大声で尋ねました。すると、同伴者のHさんが「Iさんもおばさんでしょ、人のことをおばさんというのはおかしいよ。」と笑顔で言いました。Iさんも年配の女性も、「あははははは!」と笑い合いました。

私たちは、草取りは嫌ではありません、だってみんなで集まって楽しくやれるから。それと、萩原にはこれからも、ずうっとずうっと住みたいと思っています。

※不適切な言葉、非礼をお赦しください。

m(_)_m 無駄に想像好きな同伴者Hより



先般、大徳連区長の鈴木様のご推挙により、榎の木福祉会の地元ラジオ局(i-wave FMいちのみや)への出演(なんと大徳連区シリーズの中で月曜日のトップバッターでした)のお誘いがありました。これは「連区23」と言う番組で、一宮市内23連区で活躍している人物、団体、お店などを1週間ずつ、毎朝8時30分から15分間、生放送で順番に紹介するという内容のものです。

このたびのお話を含めまして、榎の木が本年で無事37周年目を迎えられたのも、ひとえに大徳地区の皆様のご理解ご支援の賜物であると、本紙面をお借りし改めて心から厚く御礼を申し上げます。



さて、放送当日は北川理事長より拝命を受け、事務局の橋本が出演することとなり

ました。透き通った声と流暢な語り口のパーソナリティーさんにより、インタビュー形式で話が進みました。具体的な内容は、①自己紹介、②法人の取組内容、③組織の中身と規模、④療育って何、⑤かしの木フェスティバルの紹介、⑥スタッフ募集などでした。実は、以前も当法人の何人かのスタッフが「i-wave FMいちのみや」に出演し、大変お世話になっています。このようなご当地放送局は、AMではなくFMですが、通常とは出力が絶対的に小さいので、本町にあるスタジオから電波を飛ばしても、木曾川に近い地区ではギリギリ受信できるくらいだそうです。

いずれにしましても、今後もご当地ラジオを盛り上げ、人と人との絆を大切にする地域づくりの為に、共に取り組んでいくことが大切であると、心から実感いたしました。

法人事務局

橋本

法人コーナー①

療育サポートプラザ チャイブ
そら豆キッズにて
『保育所等訪問支援事業』が始まりました。

昨年6月から『保育所等訪問支援事業』という新事業が、療育サポートプラザ チャイブ にて始まりました。

『保育所等訪問支援事業』とは、障害や発達に心配のあるお子さんが在籍している保育所等に訪問し、個々の発達の特性に配慮する点など、保護者および担当職員と協力、連携を図り、お子さんが楽しく集団生活を送ることができるよう支援していく事業です。

訪問先 保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校、その他児童が集団生活を営む施設として、地方自治体が認めたものです。

対象 発達の遅れやかたよりが気になるお子さん、障害のあるお子さんで市町村から通所受給者証を交付されているお子さんです。

内容 保護者の方から依頼があった後、お子さんの様子を所属先にて確認したうえで、保護者および所属先の担当の先生と相談し、個別支援計画を作成します。原則として月2回計12回訪問します。支援計画をもとに、お子さんへの支援および先生と情報共有し、支援方法を相談させていただきます。訪問後は報告書を作成し、保護者の方と先生にお渡しします。



ここでいくつかの保育園での事例を掛け合わせ、1つの例としてご紹介します。

<A 保育園にて>

場面	現状	対応
園庭から教室へ	時間になっても遊びをやめられない。	スケジュール表の導入を検討。
朝の用意	黒板に貼ってある手順表を見て確認しながら進める。	手順表を取り入れていただいたことで、自立して朝の用意ができるようになっていく。
運動会の練習	ポンポンに好きなキャラクターのシールが貼ってあり積極的に参加できる。	対象児の好きな物を取り入れることで、練習になかなか参加できていなかったができるようになっていく。
給食	両手を同時に使うことが上手にできなくてこぼすことが多い。	対象児が通っている作業訓練の作業療法士の方と連携をとる。

このように行動観察の上、場面によって支援を考えていきます。

支援で難しいと感じるところ

- ・所属先側と保護者側の目指すところにずれがある時。
- ・所属先の環境によっては、支援方法を取り入れることが難しいこともある。

支援で喜びを感じる場所

- ・先生、保護者の方とお子さんの成長を共に喜ぶことができる。
- ・保護者の方が報告面談を楽しみにして下さる。
- ・先生から、共感してもらえることが嬉しいと言っていた。

これからの抱負

お子さんが安心して生活できる場を作っていくことだけでなく、所属先の先生方に、利用して下さっているお子さんを通じて対象のお子さんの特性理解にとどまらず、障害に対する理解啓発を目的としていきたいと考えています。

浅野

法人コーナー②

療育サポートフラザ チャイブ

今回は、この場を借りて療育サポート事業の内容について改めて知っていただくとともに、新たに始まった巡回相談支援の紹介や今後の抱負についてお伝えしたいと思います。

療育相談

お子さんの発達に関して、気になることや悩みなどについて個別相談をおこなっています。その子にとって過ごしやすい環境が得られるよう、何ができるかを日々ご家族の方や先生たちと一緒に考えています。現在の新規相談は約1~2ヶ月前後でご案内しています。

おはなし会「ひかり」

お母さんたちが集まり話し合える場所になっています。 ※申し込み不要



体験療育

体験療育では、お子さん自身が自立課題や親子遊びなどの時間を通して「わかる」「できる」「楽しい」という体験が1つでも多くできるように様々なアイデアを出し合い、工夫を凝らしたプログラムを提供しています。必要に応じて個別のスケジュール表を用いるなどして、丁寧な対応を心掛けています。

子育て支援

未就園児の親子あそびの場 「ぞうさんひろば」

第1 火曜日…1 歳児グループ

第2・4 火曜日…2 歳児グループ

親子遊び、リズム遊び、パネルシアターなどをして親子で楽しく遊びます。 ※申し込み不要



★巡回相談支援 スタート!

今年度より、新たな取り組みとして巡回相談支援が始まりました。保育所が日々の保育で困っているケースについてサポートすることを目的に、一宮市内の公立保育園を訪問しています。

1つ1つの相談を通して、保育士さんたちに発達障がいについて知ってもらいながら、対応の工夫について相談支援にあたっています。



療育サポート事業の

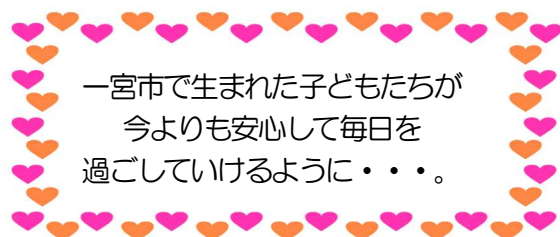
これまでといま。そしてこれから・・・

療育サポート事業が始まってから今年で8年目を迎えました。

これまで、出会った目の前のお子さんやご家族の方々との相談を受けていくことに精一杯で、ただひたすらに駆け抜けてきたように感じます。

そのような歩みを続けてきたことにより、地域に少しずつチャイブという存在が認知されてきました。保健センターや母子通園施設、保育園や幼稚園、小学校や中学校等等、子どもたちがそれぞれの発達ステージで会う先生たちと、子どもたちの未来についてお話しする機会も増えてきております。

これからも、地域の子どもたちが通っている学校や保育所の先生方に発達障がいの気になる子どもたちへの理解を深めていただき、現場で効果的な支援が実現されていくことを目指して、歩み続けていきたいと思ひます。



一宮市で生まれた子どもたちが
今よりも安心して毎日を
過ごしていけるように・・・。

鷲尾・吉田

法人コーナー③



放課後等デイサービス そら豆キッズ

そら豆キッズがスタートして6年が経とうとしています。開所当時、小学校1年生だった子どもたちも、今年度小学校卒業です。

これまでも、ランドセルから制服へと変わる姿を何度も見てきました。あつという間に月日が経ち、「もう制服着る年齢？」と驚きますが、子どもたちの成長していく姿は、本当にうれしいものです。



そら豆キッズに通っているお子さんたちの卒業後の進路先は様々です。

就職では、特別支援学校卒業後、福祉サービスの事業所へ通うお子さんや一般就労するお子さん。進学では、特別支援学校に進学するお子さんもいますし、公立中学校や私立中学校、近隣の高校や通信課程の学校などに進学していきます。どのご家庭も様々な学校などを見学したり体験したりしながら、進路を決めていきます。

学校選びはどのご家庭にとっても大変なことで、学力や卒業後の進路だけでなく、お子さんが楽しく通うことができるか、お子さんのことを理解してもらえるか、どんな生徒さんが通っているか、学校の雰囲気はどうか…。進学先を決める段階でもたくさん悩んだり迷ったり。決めた後も準備を進める中でまだ不安は残り、「これでいいだ

ろうか」「準備で足りていないことはないだろうか」などと保護者の皆さんも落ち着かない様子です。

進路希望を決め、受験に向けて頑張っているお子さん、まだ決めることはできていないけれど、自分に合った進路先を選ぼうと、学校見学に行っているお子さん…。そら豆キッズに来てくれたとき、「親と喧嘩した」「学校の見学に行ったよ」「電車に乗る練習をした」「学校決めたよ」「受験頑張る」などという
いろいろな報告もしてくれま



そら豆キッズでは、入学や卒業、通常学級から支援学級、就職など、子どもたちの様々な節目に関わらせてもらっています。



放課後等デイサービスでの活動は、学校や家庭ではない場所や人、体験を通して、大人になるために様々なことを学ぶ大切な時間でもあります。どんな道を選ぶにせよ、最終的には本人と保護者の方での決断になります。私たちスタッフは、その決断を応援させて頂くとともに、そら豆キッズだからこそのバックアップをしていきたいと思

そら豆キッズ 龍田



地域コーナー③

木曽川高校・音楽会

9月24日(土)に木曽川高校ブラスバンド部の皆さんによる「木曽川高校音楽会」に招待して頂きました。今では毎年の恒例行事となっており、利用者の皆さんもとても楽しまれていました。

毎年、体育館で行われてきた音楽会ですが、今年は音楽会と体育館の改修工事が重なり、「木曽川体育館」に変更になりました。生徒の皆さんは、楽器運びや会場の準備など大変だったと思いますが、中止にせずに開催して下さったことに大変感謝しております。

又、当日は生徒さんの保護者の方々や多くの方にボランティアとしてお手伝いして頂きました。会場への移動や駐車などスムーズに終わることができ、大変助かりました。その為、今回の「木曽川高校音楽会」では例年以上に地域の方の協力を身近に感じ、檜の木福祉会を通して、障害を持つ方についても多くの方に知って頂ける良い機会となりました。

毎年音楽会では、リクエスト曲に応じて頂いています。檜の木福祉会の各事業所に演奏して欲しい曲目のアンケートを取り、それを元に顧問の先生と打ち合わせをしながら、企画・構成を考えているそうです。

今年の曲目はアニメメドレー、SEKAI NO OWARI メドレー・昭和の歌謡曲を含む、幅広い層に好まれる曲目となっていました。アニメメドレーでは、生徒さんが実際にアニメのキャラクターになりきり、ブラスバンドの演奏に合わせて唄ったり踊ったりしていました。利用者の皆さんもそれに合わせて踊っており、大興奮でした。アンコールの「上を向いて歩こう」では、利用者が一緒に唄えるように、大きな歌詞カードが

用意されており、会場一体となって大合唱となりました。前に出て踊る方、イスに座って静かに聴く方など、利用者は自分なりの楽しみ方で楽しんでおり、自由で笑顔溢れる音楽会でした。

かしの木の里 渡辺 美早紀



顧問 木本先生

高校の体育館が使えなくても是非やりたいと思っていました。木曽川体育館で勝手に違い戸惑いもありましたが、「利用者のKさんがこんなに笑っているなんて!」という石田さんの言葉に、音楽の力を心の底から感じました。部員も「自分たちの音楽をこんなにも楽しんでもらっている!」と言うこと以上の何かを感じていると思います。(神奈川の)事件の後でしたが、障害を持った方たちの生の姿や心に触れることができたことは、生徒たちにとって何にも代えがたい学びの機会となりました。私としても、他の招待演奏とは違う大切な演奏会という思いがあります。



部員(2年生)

檜の木の方たちは、跳んだり踊ったりと楽しさを体中で表現してくれました。その楽しさが目に見えるので、私も嬉しくなって、演奏するのを忘れてしまいそうになりました(笑)。私たちにとって特別な演奏会です。

かしの木の会コーナー①

研修委員会

研修委員会では8月18日（木）に、小牧市にある社会福祉法人A J U自立の家の就労移行支援・就労継続B型事業所の「小牧ワイナリー」と、社会福祉法人あいち清光会の生活介護事業所の「銀河」「ベーカリー&カフェ シリウス」の見学に行ってきました。（16名参加 うち職員2名）

「小牧ワイナリー」は山あいの緑豊かな中にあり、施設の裏にはブドウ畑が広がっていました。



施設の1階には、一般では流通していない世界の修道院のワインや小牧ワイナリーで造られたオリジナルワイン「NANATUBOSHI（ななつぼし）」が販売されていました。2階は明るく広い作業室で、ワインの樹の会会員さん宛のお手紙とチラシの発送準備やワインの梱包作業をしていました。できる限り利用者さんが活躍できるように、工夫がされています。自分らしく地域で生きるためには、障がいがある人でも十分な収入を得ることが必要です。ブドウを栽培し、ワインを造って販売することにより工賃月10万円を目標にしております。

通所施設「銀河」は、1階の作業室でパチ

ンコ台の解体をして部品の仕分け作業をしていました。2階では、お弁当の製造をしていました。利用者さんと職員さんの昼食用と外注用を毎日作っているそうです。隣接する「ベーカリー&カフェ シリウス」でもランチメニューとして販売していました。とても好評で、老人施設や特別支援学校の先生からも注文があるそうです。2階の作業室では、手先の訓練として刺繍やレース編みをしていました。それを職員さんのアイデアで、ティッシュケースや手提げかばんや印鑑ケースなどに加工して販売しているそうです。



また中庭では夏祭りを行って、地域の方など500名ほどが楽しまれたそうです。どの部屋の内装も、いたるところがとてもおしゃれで素敵な作りでした。伺ってみると、それは障がいのある人でも豊かな生活が出来るように、との思いからだそうです。施設の方の利用者さんへの愛が感じられました。



清水

かしの木の会コーナー②

かしの木の会・交流会に参加して

法人本部事務局 森 繁雄

皆さんこんにちは。檜の木福祉会法人本部の森繁雄と申します。本法人にお世話になり、ちょうど半年が経ちますが、まだまだ皆さんにとってのなじみの顔にはなっていないと思っています。そういう点では、先日行われました「かしの木の会・交流会」に参加させていただき、皆さんとの交流を通して、距離がちょっぴり縮まったのではないかと感じています。自分自身は岐阜で生まれて岐阜で育った生粋の岐阜人ですが、今回の旅先は初めてのところばかりでどこの訪問地も新鮮なところばかりでした。

最初に訪問した伊木山ガーデンでは、地元の農家で生産された新鮮な野菜や果物が販売され、参加者の皆さんの中には袋いっぱい買い物をされている方も見受けられました。そういう私はわが家の物資調達大臣の拝命を受けていないことから、大蔵大臣から「何よ、こんなもの買ってきて。」とおしかりを受けることを心配し、ここでの物資の購入は断念しました。やがて、お昼も近くなり、ガーデン内のレストランで昼食をとることになりました。和洋取り混ぜたたくさんの料理が並んでいます。こういう時には平日頃さして大食でもない私も、あれを取り、これを取りでいつの間にかお皿はいっぱい、自分でも少しいやらしいかなと思いつつも、食欲が羞恥心に勝ち、皆さんと談笑しながら、ついつい箸が進んでしまいました。いっぱい食べた後、さらに仕上げに大好物のカレーライスを胃袋に入れ大満足の伊木山ガーデンでした。

次に向かったのが、関の善光寺さん。長野の善光寺さん、祖父江の善光寺さんにはお参りしたことがあったのですが、先にも書きましたように関の善光寺さんは初めて。なだらかな山の中腹にいくつかの寺社があり、参加者は、一部杖の力を借りながら寺院に到着しました。上では、寺の住職が我々をお待ちいただき、寺の成り立ちなどについてウイットに富んだご説明をいただきました。特に印象に残っていますが、善光寺と称するお寺は全国に200寺以上あり寺社の数は自分の中の想定数をはるかに超えていたことです。また、本堂の隣にある大日堂に鎮座される「宝冠大日如来」体の正面で手を組むお姿は、ずばり、先のラグビーのワールドカップで話題になった五郎丸選手のフィールドゴールを狙う時のポーズそのものでした。

食欲を満たし、知識欲をそれなりに満たした私たちイベント参加者の面々は、和気あいあいと、冨田の地に戻ってまいりました。

とても楽しいひとときを過ごさせていただきましたイベント委員会の幹事の皆さんのご労苦に感謝するとともに、来年度の開催を今から楽しみにしております。本当にありがとうございました。



関善光寺にて 参加者集合写真

お知らせコーナー 【 行事予定 1月~3月 】

檜の木交流会

日時・・・1月28（土）18：00～
場所・・・尾西商工会館

赤い羽根共同募金

10月2日、一宮市共同募金委員会の赤い羽根共同募金運動がありました。

当日は市内の小学校の児童さん、中学・高校の生徒さんやボランティアさんが参加され、街頭募金活動をスーパー等で行われました。

かしの木の会はスーパー三心三条店さんと、尾西第一中学校の生徒さんと一緒にさせていただきました。

多くの方々が募金をして下さり、あたたかい心にふれることができました。



小塚

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木の会 事務局	〒494-0018	愛知県一宮市富田字砂原2147番地 法人本部事務局内	Tel 0586-63-2111 Fax 0586-61-1200
檜の木福祉会（法人本部）	一宮市富田字砂原2147番地		Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200
☆檜の木作業所・どんぐり	一宮市富田字漆畑16番地		Tel/Fax 0586-61-6055 / 61-6514
☆檜の木園	一宮市富田字若宮17番地		Tel/Fax 0586-62-8202 / 62-8253
☆ステップ	一宮市明地字上平35番地の1		Tel/Fax 0586-68-1207 / 68-1241
☆かしの木の里	一宮市富田字砂原2147番地		Tel/Fax 0586-63-3270 / 61-1200
☆かしの木サポートプラザ	一宮市北丹町2番地		Tel/Fax 0586-28-8288 / 28-8188
☆らちえっと	一宮市富田字砂原2147番地		Tel/Fax 0586-62-6117 / 61-1200
☆喫茶・らちえっと	一宮市富田字砂原2147番地		Tel/Fax 0586-62-6135 / 61-1200
☆カフェ ふらっと	一宮市萩原町串作字女郎花1617番地8		Tel 0586-67-5070
☆園芸センター さいた	一宮市西五城字山方21-1		Tel/Fax 0586-62-0039
☆わがんせ	一宮市祐久字九百坪204		Tel/Fax 0586-68-2700 / 68-1250
☆相談支援 ゆんたく	一宮市大和町馬引字引郷裏42		Tel/Fax 0586-64-5882 / 64-5852
☆就業・生活支援 すろーぷ	同上		Tel/Fax 0586-85-8619 / 64-5852
☆療育サポートプラザ チャイブ	一宮市北丹町2番地		Tel/Fax 0586-28-8288 / 28-8188
☆居宅介護事業所 きーぷ	一宮市富田字砂原2147番地		Tel/Fax 0586-63-2122 / 61-1200
☆G. H. C はぎわら	一宮市萩原町串作字女郎花1616番地3		Tel 0586-67-1787
☆G. H. C びさい	一宮市祐久字九百坪97		Tel 0586-68-6505
☆G. H. C やまと	一宮市萩原町串作字女郎花1616番地3		Tel 0586-67-1787